

# コンコードとの交流深く

## 交換留学制度開始 フロイド君「友達作る」

# 最初の留学生七飯高で笑顔



【七飯】七飯高校（名平裕校長、生徒352人）は本年度、姉妹校提携を結ぶ米国マサチューセッツ州のコンコードカーライル高校との交換留学制度を開始した。23日には最初の留学生となるデービソン・フロイド君（17）が来校し、生徒との交流を楽しんだ。

（報名達也）

両町は1997年に姉妹都市提携を締結。今年で23回目を迎える町の海外交流派遣研修では、毎回町内の中学、高校の生徒がコンコードの学生と交流しているほか、2010年には両校が姉妹校提携を結び、2年に1回、1週間ほどカーライル高校生を受け入れ、関係を深めている。

交換留学はかねてから検討されており、名平校長らの働きかけで実現。本年度は七飯高で6～7月、夏休み期間に、米国の交換留学生として、七飯高校の生徒に囲まれながら笑顔を見せる（後列右から）館田君とフロイド君

み中のフロイド君一人を受入れる。なじみやすい場所に入れ、秋に同校の生徒1人がカーライル高校に留学する予定だ。

23日は放課後に合わせ「校則や授業の受け方など、フロイド君を歓迎するボットラックパーティーを同校で開催。全校生徒が参加可能で、部活動の練習着姿の生徒ら30人以上が集まった。歓迎の意を込めて英語部や名平校長らが英語であいさつ。姉妹都市提携は今年で20周年を迎え、町総務部の北村到部長は「これからもコンコード町、カーライル高校との交流が進展するとともに、フロイド君には日本の文化に触れて楽しく過ごしてほしい」と述べた。

フロイド君は2学年のクラスで毎日通常の授業を受ける。また、米国カリフォルニア州のカルバシティハイスクールに通う館田慶志君（15）も同校で受け入れられており、日本の高校生は少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

フロイド君は7月8日に町文化センターで開催する学校祭の中で、コンコード町のプレゼンテーションを行う。名平校長は「留学生を迎えることは学校全体に活気を与えてくれる。友達が多いほど悲しいトラブルは少なくなると考え、交換留学から世界平和につながるべしと願う。」

(H29.6.28 函館新聞)